

架空線等接近警報システム

—— 架空線等損害事故防止補助用品 ——

こんなときに効果を発揮します

架空線等（信号機、標識等上空物）がある場所での作業で

- ・オペレータが作業に集中し架空線等を忘れてしまったときに…
- ・夜間作業で架空線等が見えにくいときに…

設定角度を超えると
音と光(LED)
で警報



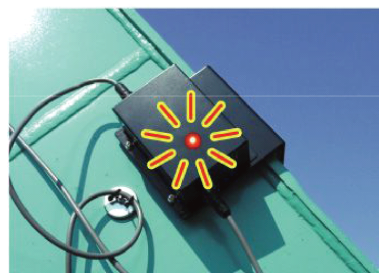
警報LED <光(LED)で警報>



通常時



警報時



傾斜検出センサー <光(LED)で警報>



通常時



警報時



コントローラ

<音と光(LED)で警報>



通常時



警報時

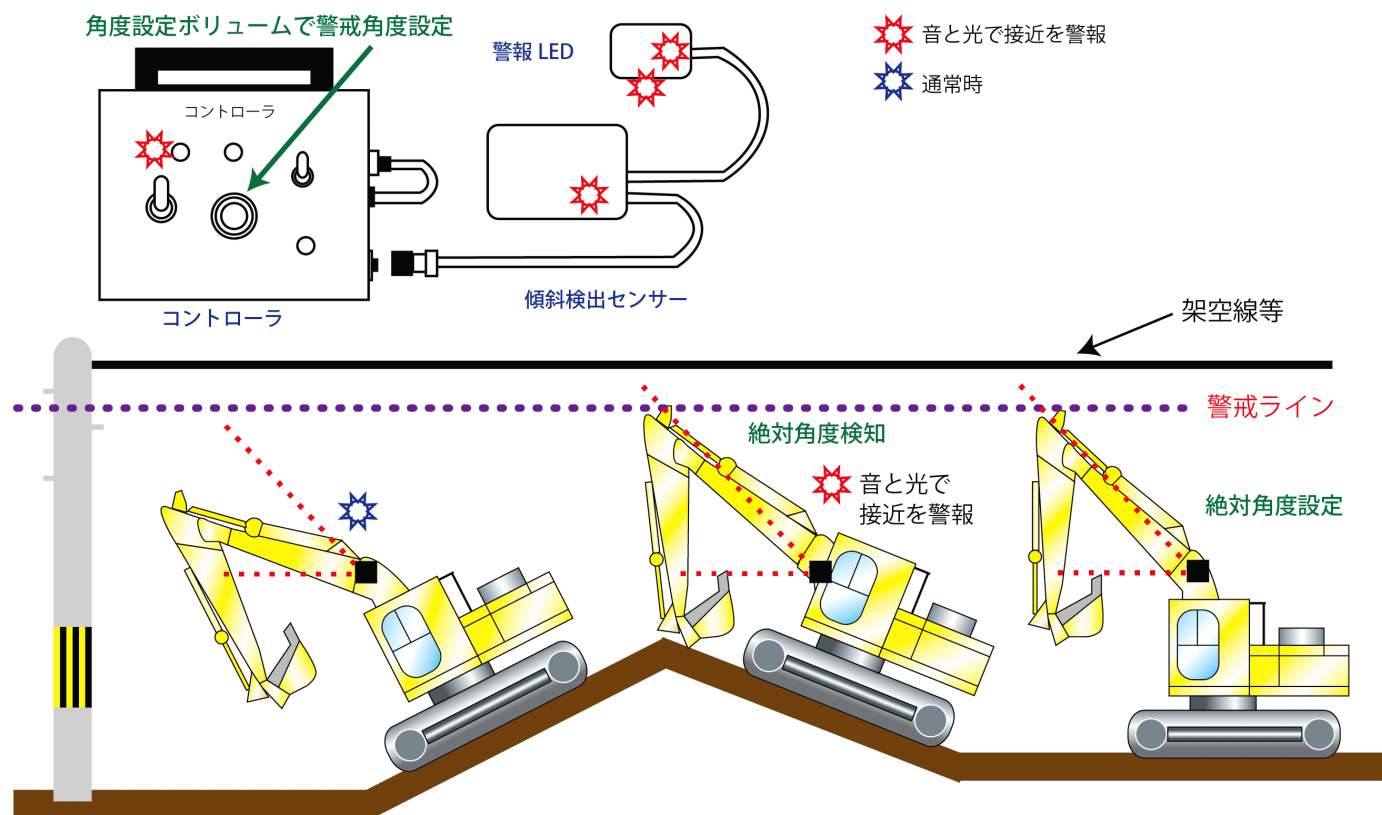
■ 特徴

- 機種を問わず、簡単に取付け可能
 - コントローラにより警報角度を自由に設定可能
 - 傾斜検出センサーは、水平に対しての絶対角度であり、地盤や機体の傾きに無関係
 - 音と光(LED)により警報
 - センサーをセットしている状態を外部からも確認可能
 - 音量は大・小・消音の3段階で設定可能
- 夜間や住宅地など警報音を出したくない場合、コントローラの光(LED)とヘルセンサー（オプション）により警報

架空線等接近警報システムのコンセプト

本システムは、作業中のオペレーターにバックホウのブームが上空の障害物（電線・信号機）に接近したことを「音」と「光(LED)」で警報する安全補助装置です。

作業中のオペレーターはどうしても刃先に神経が集中してしまい、上空の障害物に気が付かない場合があります。そこで本システムは、事前に設定した危険な高さまでブームが上昇すると、その傾きをセンサーが検知してオペレーターへ危険を知らせます。



絶対角度で検出

機体とブームの傾きで無く、水平面からの傾きを検出することにより、路面の傾きによる影響が少なくなっています。

水平に対する絶対角度を維持

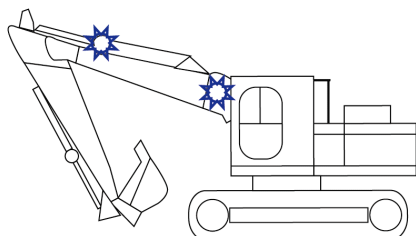
機体が傾いた状態でも、常に一定の高さで警報します。

KY 活動の一環として

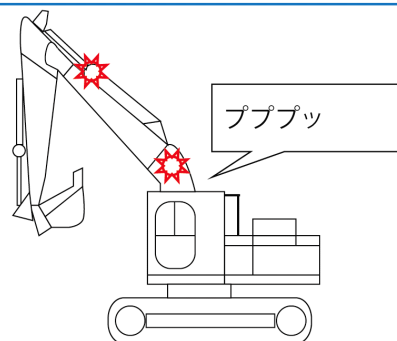
本装置は、事前にオペレーター自身が危険を予測して傾斜を設定するため、KY 活動にも繋がります。

【簡単取り付け、操作】

※架空線等の無い場所で、高さを計りながら警報確認をして下さい。



電源を入れ、センサー設定スイッチを『入』
角度設置ボリュームを『高』まで回します。



ブームを上昇し、警報させたい高さでストップ。
角度設定ボリュームを左に回し警報する位置で
セットします。